

運用スタイル（リスク許容度診断）をWhat-if条件変更画面へ移動しました

<更新概要>

運用スタイル（リスク許容度診断）画面をシミュレーション結果後のWhat-if分析画面へ移動致しました。
ライフプラン入力画面にて、リスク許容度診断を選択せず現状分析シミュレーションすることが可能となりました。
また、What-if分析画面では直接モデルポートフォリオを選択いただくことも可能です。

1 What-if条件変更 前提条件を変えてみる

退職までの期間の投資額変更

■ 現状平均月投資額 0 円/月

■ 追加投資額 円/月

合計 0 円/月

リスク許容度診断

投資タイプ	期待リターン	想定リスク
積極型	6.55 %	14.72 % (ともに年率)
成長型	5.77 %	12.30 % (ともに年率)
標準型	4.37 %	8.64 % (ともに年率)
安定型	3.06 %	5.40 % (ともに年率)
保守型	0.98 %	1.35 % (ともに年率)

ご提案投資タイプは 標準型

追加投資額、ポートフォリオの変更を行った場合、その他条件変更を行う前にシミュレーション結果を表示するを押下してください。

●ご提案後のモデルポートフォリオについて

初期設定では「保守型」、アセットクラスは伝統資産（国内外短期、国内外債券、国内外株式）が自動選択されます。
What-if条件変更画面にて、①リスク許容度診断②投資タイプの直接選択いずれかよりモデルポートフォリオの設定が可能です。

- ①の場合 ➡ 伝統資産+投資選好質問で選択した資産
- ②の場合 ➡ 伝統資産のみ